



【教育班】防災実践と記録

阪神・淡路大震災 「三十年限界説」 を問い直す



【在日班】生活史と対話

記憶なき世代が引き継ぐ『終わらない震災』

「記憶の保存」から「対話による終わらない物語」へ

30年限界説をテーマに 記憶を継承しよう！語り合おう！

2026.10.25 (Sun)

13:30 - 17:00 (13:00開場)



場所

神戸市立こうべまちづくり会館 2Fホール（参加無料・どなたでも歓迎）

主催

関西学院大学 社会学部 金菱清ゼミナール

【第一部】 学生フィールドワーク報告（13:45～14:45）

① 落語班

震災落語の継承と笑いを通じた記憶の再起動

② 在日班

在日コリアンの生活史と多文化における被災体験

③ 神戸新聞班

地方紙の記録再読解とメディア伝承の可能性

④ 教育班

学校現場における防災模擬授業

【第二部】 シンポジウム「同化翻訳」で拓く新たな継承（15:00～16:45）

登壇者：金菱 清 教授（関西学院大学） × 山地久美子 先生（神戸大学特命准教授） × ゼミ生

概要：非体験者の若者が自らの視点で災害体験を自らの物語として引き受ける「同化翻訳」の可能性と、
30年の節目を超えて記憶を更新し続けるためのオープンディスカッションを展開します。

■ 関連書籍情報 (ナカニシヤ出版 10月末刊行)

『阪神・淡路大震災「三十年限界説」を問い直す』

ー 記憶なき世代が引き継ぐ「終わらない震災」

編著者：関西学院大学社会学部金菱清ゼミナール

■ お問い合わせ・参加お申し込み

金菱 清（関西学院大学教授）

メール：soms9005@yahoo.co.jp

ゼミ代表：丸山 美怜

メール：iul44220@kwansei.ac.jp